

育成モノづくり人材

Vol. 59

岩手県立水沢工業高校

資格試験に力を注ぐ
岩手県立水沢工業高校
は、生徒が卒業までに
平均で5、6種の資格
を取得する。合格率が

1割以下の難関試験
「第三種電気主任技術
者試験（電験三種）」に
合格する生徒や、2年
生で「二級技能士に合格
する生徒を輩出してい
る。こうした成果を上
げる大きな理由は「朝
学習」にある。



南館校長

【DATA】▷校長＝南館秀昭氏
▷所在地＝岩手県奥州市▷学科構
成＝機械科、電気科、設備システ
ム科、インテリア科▷生徒総数
＝416人▷主要設備＝マシニング
センター（MC）、旋盤、フライ
ス盤、CADなど▷主な進路＝東
北電力、トヨタ自動車東日本、三
菱重工業相模原製作所、デンソー
岩手、東京都職員、東北学院大
学、岩手県立大学など

前はポイラー
技士2級試験
に2年に1人
の合格者を出
す程度だった
のが、16年度
には3年生の
受験者10人全
員が1級試験
に合格するほ
どに。同校に

資格取得「朝学習」の伝統

と。「D（ドリーム）プ
ロジェクト」がきっか
けだ。全学科の1年生
全員と2、3年生の希
望者が第一種電気工事
士試験などを受験する
もの。初年度に13
0人以上の合格者を出
た。例えば、10年度以

はビルなどの地下にあ
るボイラー設備を再現し
た教室があり、実際の
作業に近い形で学習で
きることも合格者増加
に寄与している。

同校では始業前の約
1時間を資格の勉強に
充てる。通称「0時限
目」だ。時期や学年に
応じて勉強する内容は
さまざま。教員もサ
ポートする。入学式の



機械加工（普通旋盤作
業）の二級技能士に合
格した佐藤飛鳥さん
（機械科3年）

て身につけた「学習
慣」は卒業後も大いに
役立っている。

朝学習は出席率の上
昇にもつながった。同
校生徒はおよそ7割が
皆勤賞。真面目に勉強
し、手に職をつけられ
る高校として地域にお
けるブランド力も向上
した。

卒業後も継続して自学
自習できる人材を輩出
するのが本場の目的と
いう。実際、朝学習だ
けでは合格には不十分
なため自宅での研さん
が必要であり、こうし

今後朝学習を続
け、南館校長は「資格
取得率や生徒の満足度
で日本の工業高校を
目指す」と意気込む。
（仙台・田畑元
（金曜日）掲載）